

第48回 衆議院議員選挙 当選おめでとうございます



岡山3区 あべ俊子議員

京都3区 木村弥生議員



看護の心を、
みんなの心に

会員数…………… 3,948人

(保健師 ……109人	助産師 ……145人)
看護師 ……3,640人	准看護師 …… 49人)
学生 ……5人	(平成29年10月20日現在)

Contents

第25回参議院選挙組織内候補予定者に「石田まさひろ」氏が決定…	2
埼玉県看護連盟会長あいさつ ……………	3
日本看護連盟会長あいさつ ……………	3
埼玉県看護協会会長あいさつ ……………	3
国会議員あいさつ ……………	4
さいたま市市議会議員あいさつ ……………	4
平成29年度 日本看護連盟通常総会代議員報告 ……	4
埼玉県看護連盟総会報告 ……………	5
新旧役員支部長あいさつ ……………	6
埼玉県看護連盟支部紹介 ……………	7
第一回「石田まさひろに現場の声を届けよう」報告 ……	8
研修会「働き方を考えよう」:in小手指 ……………	9
活動報告 ……………	10
研修報告 ……………	11
お知らせ ……………	12

平成29年度日本看護連盟通常総会において、 第25回参議院選挙組織内候補予定者に 「石田まさひろ」氏が決定



埼玉県看護連盟を訪れました

埼玉県看護連盟の皆さま、日頃よりお力添えを賜りありがとうございます。

先般開催されました日本看護連盟通常総会において、組織内候補予定者としての決定をいただきました。看護政策推進の使命をいただいたものと、身の引き締まる思いであります。

皆さまのお力で、参議院議員の重責をいただいてから四年が経過し、看護師免許保持者の届出制の新設、認知症ケア加算の新設、民間看護職紹介会社の適正化など、看護の現場をよりよくするための活動を積み上げてまいりました。

これからも、職場環境の改善、基礎教育と卒後教育の連続的充実、看護の社会的地位の向上など力強く推進し、全ての看護職が「今日もよい看護ができてよかった!」と実感できるよう全力を尽くします。

参議院議員 石田 昌宏

ごあいさつ



埼玉県看護連盟会長 竹内 良子

会員の皆様には、平素より看護連盟の活動をご支援いただき、感謝申し上げます。
平成29年度看護連盟総会は埼玉県選出の国会議員をはじめ、多くのご来賓をお迎えし、7月1日に開催致しました。210名の会員の皆様にもご参加頂き、活動方針、活動計画は承認されました。現在、総会で承認された平成29年度活動計画を開始しております。

超少子高齢社会が続く中、政府は働き方改革を進めております。24時間365日の勤務体制が求められる私たち看護職にとってどのような改革が可能でしょうか？

本年度の活動計画の中には「働き方を考えよう！」研修会を盛り込んであります。働き続ける職場にするために、まず看護現場の皆様からの声をお聞きし現状の問題点を明らかにし、解決に向けて地元選出の国会議員や県議員、市議員と共に考え、活用できる制度政策を探り、更に新たな制度を創るよう働きかけていく内容となっています。現場の皆様からの声が改革の第一歩です。

今年度も会員の皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。



日本看護連盟会長 草間 朋子

全国的に、猛暑が続く毎日です。セルフケアに心がけ、猛暑を乗り切ってまいりましょう。

さて、去る6月15日の日本看護連盟の総会におきまして、第25回参議院選の組織内候補予定者として、石田まさひろ現参議議員を満場一致で決定させていただきました。看護政策の実現に向けて石田議員の活動をしっかり支援していくために、清水嘉与子顧問を会長にお願いし「石田まさひろを応援する会」を設置いたしました。

2025年を目前に控え、「予防し・治し・支える医療」を中心となって担っていくのは、看護職です。看護職が、患者さんたちの信頼を得つつ、明るく、楽しく役割を果たしていくためには、看護界が一丸となって、就労環境の改善等の山積する課題を解決していかなければなりません。これらの課題を看護政策として実現していくために、私たち連盟は、国会議員の先生方をしっかり応援し、国会議員の先生方にはしっかり活動していただきますよう。



公益社団法人 埼玉県看護協会会長 熊木 孝子

初秋の候 連盟会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、皆様方には看護協会の事業推進にあたり、ご支援・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、過日の埼玉県看護連盟総会が大勢の参加者のもと、大盛況に開催されましたことに心からお慶び申し上げます。再来年は参議院選挙ですが、引き続き私たち看護職能団体の代表を国会に送ることができるように、看護協会も微力ながら協力をさせていただきます。そして、しっかりと政策提言を行い、国会で看護職の確保や労働環境の整備そして夜勤手当など賃金の問題など、課題解決に繋がるよう連盟との連携を密にして参りたいと思います。

今後の埼玉県看護連盟の益々のご活躍・ご発展を祈念申し上げます。

議員ごあいさつ



参議院議員 たかがい 恵美子

初秋の候、埼玉県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。平素より、国民福祉の向上と看護政策の推進にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。お陰様で、当選来一貫して社会保障制度改革の重要な任にあたらせていただくとともに、一昨年秋より女性局長を2期務めさせていただきました。先の参院選を経て、党所属女性国会議員数は43名となり、地方議会においても女性議員数が493名となりました。女性版ふるさと対話集会の創設と全国展開、政治女子を育てる党政治塾「プレミアム・ウィメンズクラブ」の創設・開講、女性の健康の包括的支援に関する法案成立への取り組み、女性医療職エンパワメント推進議連の創設と、着実に政策提言を進めています。

これからも皆様と呼吸を合わせ、丁寧な仕事を心がけて参りますので、引き続き、よろしく願いいたします。



さいたま市市議会議員 稲川 さとみ

埼玉県看護連盟の皆様には平素より多大なご支援ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。看護連盟主催のセミナー等で会員の皆様からいただいた現場の声は直接政策提言に反映する機会となっています。今年度は訪問看護の制度の運用方法や看護職の働く環境などについて、さいたま市議会で取り上げさせていただきました。今後も積極的に政策につなげていくように努力してまいります。

今年7月に新しい看護研修センターが私の地元のさいたま市西区に完成し、オープン直後より活発な研修が開催されています。全国に誇れる素晴らしい施設であり、埼玉県の看護の質の向上と会員相互の交流に大きく貢献していくことと期待しています。設立にご尽力いただいた皆様にご心より感謝と御礼を申し上げます。

平成29年度 日本看護連盟通常総会代議員報告

6月15日(木) 東京プリンスホテルにて開催。

出席者1946名 代議員936名(埼玉県18名) 役員15名。一般995名

【草間朋子 日本看護連盟会長の挨拶】

29年度の重点方針として、「力強い組織の育成」を掲げました。

「チーム医療のキーパーソン」としての役割・活動が期待されている看護職が、質の高い効果的・効率的な医療を安心・安全の下に、体制を整備する必要がある。

「誰かがやってくれる」待ちの姿勢では変革ができない。国民のQOLの確保・向上のために、全会員が一致団結し「力強い」そして「柔軟な」組織を目指していこう、と述べられました。(簡潔文とさせていただきます。)

審議事項第一号議案から第六号事案まで承認。総会終了後、4名の国会議員から国政報告がありました。

【平成29年度スローガン】

「ベッドサイドから政治を変える」

～看護政策実現に向けて、自ら活動する力強い組織をつくる～

看護連盟は、このスローガンを高々と掲げ、国民の健康と福祉の向上のため看護政策の実現に向けた実行力のある、強い政治力を持った組織作りを目指すことをここに宣言します。

平成29年度 埼玉県看護連盟総会報告

平成29年度埼玉県看護連盟総会は埼玉県選出の国会議員の皆様をはじめ、多くのご来賓をお迎えし、7月1日に開催致しました。210名の会員の皆様にもご参加頂き、今年度の活動方針、活動計画は承認されました。



午後には「TRF」のSAMさんを講師に“SAMの「健康イージダンス」～楽しく踊りながら有酸素運動～”を開催致しました。このダンスは循環器疾患のある方でも楽しく有酸素運動（ダンス）ができるようにと、指導医の監修の元考案され、SAMさんは積極的に広報活動しています。



新旧役員支部長あいさつ



前埼玉県看護連盟 幹事長
伴野 輝子

この度、幹事長を退任いたしました。これまで会員の皆様のご指導とご支援に支えられ、連盟活動をすすめてこられましたことに心から感謝申し上げます。私共は看護職の代表を国会に送り続けなければなりません。代表議員を欠員にすることはできないと背水の陣で活動した第22回参議院議員選挙において、さらに第23回、第24回参議院議員選挙に於いても会長を中心として県役員、支部長、支部役員、リーダー、青年部（ポリナビ委員）等が丸となって応援したことが当選という結果に繋がりました。本当にありがとうございました。これからも看護連盟は竹内会長の元に一致団結、その力が遺憾なく発揮されると共にさらにご発展されますことを心よりお祈り申し上げます。今後は一会員として協力させていただきますので宜しくお願い致します。



埼玉県看護連盟 幹事長
萩原 てつよ

この度連盟の幹事長を務めることとなりました。初心に戻って「連盟は何を・・・」会員ハンドバックを見ますと「看護協会の政策提言活動のため連盟が政治活動を行う」数年前の大雪のとき、国家試験が2回行われました。前代未聞の出来事でした。国政に看護の議員がいるということに感動しました。「ベッドサイドから政治を変える」と私たちの代表が、施設訪問やミニ集会で皆さんの声を聞いております。色々ご指導いただきながら一生懸命動めたいと思いますので、よろしくお願い致します。



埼玉県看護連盟 幹事
宇田川 洋子

看護の職に就いてから、大学病院・市民病院・赤十字病院と臨床の現場で勤務してまいりました。約10年前に係長昇格とともに看護連盟に入会いたしました。実際の活動内容はよくわからないまま会費を払っている次第でした。今回役員のお話をいただいて、改めて連盟の活動内容を学習し「ベッドサイドから政治を変える」のスローガンのもと、看護政策実現のため強力な集票力を持つ組織を作ろうと、各支部や県の役員の方々が一生懸命に活動されていることを知りました。諸先輩方のご指導を賜りながら、看護政策の実現のために、組織代表を国政に送り出すことの重要性を、現連盟会員にしっかりとPRしつつ、会員増加に向けて取り組んでいきたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。



埼玉県看護連盟 第4支部長
田村 信代

この度、第4支部長を務めることになりました。今までも支部の幹事・幹事長として連盟活動に参加してまいりましたが、新たに支部長となり重責に身の引き締まる思いが致します。幹事長・幹事・施設幹事・リーダーの方々をはじめとする会員の皆様と力を合わせて活動していきたいと思っています。諸先輩方にご指導いただきながら、看護連盟のスローガンである「ベッドサイドから政治を変える」の実現に向け、努めてまいります。何卒、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



埼玉県看護連盟 第5支部長
村上 尚美

平成29年7月1日より、埼玉県看護連盟第5支部の支部長に任命された済生会川口総合病院健診センターの村上尚美です。幹事長として1期（3年間）努めてきました。常に支部長のもと支部会議、研修会の準備、施設訪問等を行い、看護連盟のあり方、活動が少しずつ分りかけた時期です。しかし、7月から支部長を任命され、驚きと不安、そして責任の重大さに身が引き締まる思いでいっぱいでした。看護連盟の活動の重要性を少しでも第5支部の看護職員に伝え、ご理解いただき会員数を一人でも増やせるように働きかけていきたいです。また、連盟＝暗い、選挙といったイメージを吹き飛ばせるような明るい第5支部を目指し、幹事長、リーダー、施設連絡員、ポリナビの委員会の方々と協力して活動していきます。宜しくお願い致します。



埼玉県看護連盟 第9支部長
平山 和枝

連盟会員の皆様、こんにちは。これまで、連盟会員として研修会等に参加する機会がありましたが、今年度より初めて第9支部の支部長を仰せつかりました。今はその役割を果たすことができるのか不安が一杯です。しかし、日本看護連盟および埼玉県看護連盟の総会において、連盟の果たす役割や活動方針が明確に示されており、また先日、石田昌宏先生の訪問に際して「現場の声を届ける」具体的取り組みも経験させていただきました。これからも幹事長や役員と力を合わせ、埼玉県看護連盟役員の方々や諸先輩方、そして会員の皆さまからのご指導をいただきながら頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

第一回

「石田まさひろに現場の声を届けよう」報告

日 時：平成29年7月5日 9時～20時

会 場：埼玉医科大学病院、埼玉医科大学国際医療センター、埼玉医科大学総合医療センター
埼玉精神神経センター、埼玉県看護協会

内 容：平成29年度日本看護連盟総会において、第25回参議院議員選挙の組織内候補者になった石田昌宏議員の、候補者としての活動がスタートしました。県内第1回目の「石田まさひろに現場の声を届けよう」は、埼玉医科大学系3病院、及び関連病院1を訪問し、看護職との対話集会、又病棟などを回り、直接看護職から現場の声を聞き取る絶好の機会となりました。

埼玉医科大学国際医療センターにて



埼玉医科大学病院にて



埼玉医科大学総合医療センターにて



研修会

「働き方を考えよう」：in 小手指

日時：平成29年8月5日(土) 13時～16時30分

会場：小手指公民館分館（埼玉県看護連盟第8支部と県役員の共催）

- 内容：第1部
1. 働き方と政治活動：青年部による基礎研修
 2. 基調講演：岡田しずか県会議員、粕谷不二夫市会議員
 3. 対話集会：岡田県会議員、粕谷市議会、青年部による「現場の声をどう制度政策につなげるか」

事前に会場周辺の医療機関の看護管理者から看護現場の問題点を聞き取り集計し、それを元に青年部と議員の活発な対話集会となりました。会場からも子育て支援上の「中学生の壁」、「院内保育に孫を預けたい」等の発言もあり、参加議員も看護現場の声を直接聞く絶好の機会となったようです。青年部が自然体で議員や参加者と対話し、笑顔の多い効果的な研修会でした。



「石田昌宏対話集会」を開催しました。

日時：平成29年4月26日(水) 18時30分～20時

会場：浦和コミュニティセンター

テーマ：「診療報酬・介護報酬の現状と課題：訪問看護ステーション」

内容：2018年に行われる診療報酬・介護報酬の同時改訂を前に、訪問看護ステーション等の所長20名と石田昌宏参議院議員、稲川智美さいたま市議員との対話集会を開催しました。この中では、「特別訪問看護指示書」ではターミナルの状態ががんの末期にのみに特化されているため、高齢者の看取りに対して十分な対応ができない、「緊急時訪問」は夜間の加算が取れないことが多く、看取りをしてもコストが取れない、さらに「精神訪問」は電話対応に何時間もかかり看護師が疲弊してしまう等、制度上の不備や現状の問題点等について活発な意見交換が行われました。石田議員からは「現場の生の声を診療報酬・介護報酬に反映できるよう働きかけていく」、稲川議員からは「さいたま市議会に働きかけていく」との力強い答えがありました。



「ふるさと対話集会」 in 秩父

日時：平成29年8月20日(日) 15時～16時

会場：秩父神社

内容：秩父地域選出の今野智博衆議院議員とたかがい恵美子参議院議員を迎え、過疎化が進む秩父地域の現状と今後の活性化について話し合いました。たかがい恵美子議員からは、地域の様々な問題に対して利用できる制度政策などについて紹介やアドバイスがありました。若い参加者からは子供が自慢できるふるさとづくりが必要、観光とスポーツを組み込んだ合宿場をつくらうなどのアイデアも出されました。



研修報告

日時：平成29年9月9日(土) 13時～16時

会場：埼玉県看護研修センター

テーマ「生涯現役をめざそう」（埼玉県看護協会・埼玉県看護連盟共催）

内容：1部 講演会 テーマ：「毎日ときめいていますか」 講師 帯津三敬病院名誉院長 帯津 良一氏
ねらい：看護職として心のときめきを大切に、生涯現役をめざす

講師の帯津先生は、「今日は人生最後の日！」と考え、毎日の晩酌を「最後の晩餐」に仕立て、最大限に楽しい時間に行っているそうです。先生にとって心のときめきを感じることは、「異性（色気を感じることは命があふれている）、酒、原稿を書くこと」等があり、ノーベル賞受賞者などの著名人の言葉から「予感がし、ワクワクした」等の言葉を引用し、「予感」することは非常に大きなときめきになるのだと解説致しました。働く女性が増え、楽しみは「帰ってからの一杯！」はよく聞く言葉です。

2部 シンポジウム「プラチナナースの輝き」

基調講演：埼玉県立大学教授 林 裕栄 氏「人々の暮らしを支える看護職への期待」
シンポジウム

座長：埼玉県立大学教授 林 裕栄 氏

シンポジスト「みんなの保健室“陽だまり”」：服部 満生子氏

「いきいきサロン」：手島 初江 氏

「ほっとサロン@むさし野」：大河内 千鶴子氏



座長の基調講演に続き、3名のシンポジストから実践報告が行われました。看護職3人の実践は、地域包括ケアシステムの概念図にある「いつまでも元気に暮らすために・・・生活支援・介護予防」の実践にあたります。それぞれ地域の状況を見て、孤軍奮闘、活動拠点を立ち上げ、活動し始めました。当日の参加者からは「収支決算は？」、「できることがあれば手伝いたい！」等の発言がありました。“はじめの一歩”を踏み出した3人のシンポジストの行動力に、会場からは感嘆の声が聞かれました。



お知らせ

日	内 容	場 所
11月25日 (土)	第9回ポリナビワークショップ	ラフレさいたま
平成30年2月10日 (土)	リーダー研修会Ⅱ	埼玉県看護協会 研修室

平成29年度 連盟会員 入会受付中!

年会費 日本看護連盟会費 5,000円
埼玉県看護連盟会費 3,000円
計 8,000円

学生会員：無料

皆様のご入会を
お待ちしております。



問合せ先：048-625-7002

編集後記

(国内外で災害が多く発生いたしました。一日も早い復興をお祈りしております。)

看護連盟は、看護職代表を国政の場に送りだすため休まず活動しております。今後も皆様のご協力・ご支援をお願い申し上げます。

突然の衆議院選挙にも関わらず、OBの皆様、多大なるご協力ありがとうございました。阿部俊子議員・木村やよい議員当選おめでとうございました。

発行所：埼玉県看護連盟

〒331-0078 さいたま市西区西大宮三丁目3番地
(町名地番が変更になりました)

埼玉県看護協会研修センター内
TEL 048-625-7002 FAX 048-625-7003

<http://www.kango-saitama.jp/>

発行責任者 竹内 良子

印刷所 株式会社アサヒコミュニケーションズ
TEL 048-541-5152



エーデル
EDEL

2017 collection

この心地よさ、
誰にも譲れない

東洋羽毛は睡眠セミナーを
無料で開催しております。
～お気軽にご相談ください～

TUK 東洋羽毛北関東販売株式会社
埼玉営業所 〒362-0017 埼玉県上尾市二ツ宮 963-3



0120 - 223062

～お気軽にお問い合わせください～



この印刷物は再生紙と環境にやさしい「植物油インキ」を使用しています。



P-B10151